

導入事例

株式会社フォトロン

放送用テロップシステムに
AJA KONA 5 を採用4K 制作に対応したメッセージ
グラフィックをリアルタイムで作成

フォトロンは 4K/UltraHD グラフィックスが扱える AJA 製 PCIe I/O カード KONA 5 を TFX-Artist に搭載しました。

KONA 5 は、4K/UltraHD のキャプションやグラフィックスをビデオ出力にライブオーバーレイできるため、放送局はリアルタイムでテロップを微調整でき、制作効率を高められます。

日本の放送局は、テレビ番組を始めとした様々な番組で使われるリアルタイムグラフィック表示を実現するために、効率的で高品質なテロップ作成ソフトウェアやキャラクタージェネレーターソフトウェアを必要としています。日本のテレビ番組ではテロップが重要視されていて、ニューステッカーやキャプション、字幕など、視聴者に必要な演出やメッセージを提供しています。

効率的なテロップ作成とテロップ出しを追求する放送局を支援するため、イメージソリューションプロバイダーである株式会社フォトロンは、最近、ライブテロップ制作システム兼キャラクタージェネレーター TFX-Artist を開発しました。同システムには AJA の KONA 5 が採用されていて、4K 制作に対応したメッセージグラフィックをリアルタイムで作成できます。

TFX-Artist は、日本語に特化した業界初のテロップシステムで、放送局は縦書き/横書きの文章テロップをすばやく簡単に作成できます。TFX-Artist は、ポストプロダクション時に編集アシスタントが使用するための合理的なプログラムで、キャプション制作を簡素化します。さらに、テレビ局からのフィードバックに応じて開発された堅牢な機能を備えています。

日本の放送業界で高まる 4K/UltraHD 制作需要に応えるため、フォトロンは4K/UltraHDグラフィックスが扱えるAJA製 PCIe I/O カード KONA 5 を TFX-Artist に搭載しました。KONA 5 は、4K/UltraHD のキャプションやグラフィックスをビデオ出力にライブオーバーレイできるため、放送局はリアルタイムでテロップを微調整でき、制作効率を高められます。

COVID-19 の世界的な流行を受けて、フォトロンはリモートでのテロップ作成を支援する TFX-Artist 用の新しいツールを将来に向けて開発中です。詳細はフォトロンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.photron-digix.jp/telop/>



KONA 5

本システムに関する問い合わせ先



株式会社アスク
メディア&エンタープライズ事業部

☎ 03-5215-5676 ✉ me@ask-corp.co.jp
🌐 www.aja-jp.com